

日本 NGO 連携無償資金協力事業詳細報告書：初年度事業終了時点での事業実施内容・状況

申請団体：(特活) アフリカ地域開発市民の会 (CanDo)

申請事業名：ムインギ西県での住民参加による教育の質的向上を通じた初等教育普及事業

Improving Quality Primary Education through Community Participatuin in Mwingi West District

報告対象事業期間： 2011年3月1日～2012年2月29日 (初年度)

注釈：事業開始時において、行政名称がムインギ西県からミグワニ県に変更となっていたため、申請事業名は「ムインギ西県」としつつ、報告書文中においては「ミグワニ県」と表記する。なお、この変更は、名称のみで県レベルでの行政範囲は同一である。

目次

1. 事業実施概況.....	2
1-1. 事業実施区分.....	2
1-1-イ. 事業形成・評価会議.....	2
1-1-ロ. 質の高い教育の実現.....	3
1-1-ハ. 住民参加による学習環境の形成.....	4
1-1-ニ. 地域に開かれた学校の実践.....	5
2. 延べ裨益者数・研修指標モニタリング.....	6
3. 事業実施詳細.....	8
3-イ. 事業形成・評価会議.....	8
3-イ-1. ミグワニ県レベル行政官との定期協議.....	8
3-イ-2. 郡・区レベル行政官との定期協議.....	10
3-イ-3. 教育区レベル教育関係者との定期協議.....	10
3-ロ. 質の高い教育の実現.....	11
3-ロ-1. 教員エイズ教育研修 (①第1課程、②第2課程、③第3課程)	11
3-ロ-1-④. エイズ公開授業	15
3-ロ-1-⑤. エイズ子ども発表会	17
3-ロ-2. 環境活動と子どもの健康のための特定校での研修	18
3-ロ-3. 保健・エイズ知識に関する研修 (集合型研修)	18
3-ハ. 住民参加による学習環境の形成.....	21
3-ハ-1. 施設拡充	21
3-ハ-2. 小学校での環境活動.....	27
3-ハ-3. 保護者対象の保健・エイズ学習会	28
3-ハ-4. 幼稚園での保健活動.....	29
3-ニ. 地域に開かれた学校の実践.....	29
3-ニ-1. 地域リーダー育成	29
3-ニ-2. 公開学習会	30

1. 事業実施概況

1-1. 事業実施区分

本事業の申請時の初年度事業実施区分は次の通りである。

イ. 事業形成・事業調整・事業評価のための会議	当会内での会議	イ-1	当会日本人スタッフ、ケニア人スタッフ、ケニア人専門家全員を集め会議を実施
	行政官、教育関係者との合意形成	イ-2	郡レベルでの行政官・リーダーとの合意形成
		イ-3	区レベルでの行政官・リーダーとの合意形成
		イ-4	教育区レベルでの校長との合意形成
ロ. 質の高い教育の実現	小学校教員研修	ロ-1-①	エイズ教育研修（第1課程、集合型研修）
		ロ-1-②	エイズ教育研修（第2課程、集合型研修）
		ロ-1-③	エイズ教育研修（第3課程、集合型研修）
	エイズ公開授業	ロ-1-④	エイズ公開授業
	エイズ子ども発表会	ロ-1-⑤	エイズ子ども発表会
	小学校教員研修	ロ-2	環境活動と子どもの健康のための特定校での研修
	幼稚園教師研修	ロ-3	保健・エイズ知識に関する研修（集合型研修）
ハ. 住民参加による学習環境の形成	施設拡充	ハ-1	教室建設
		ハ-2	環境活動（学校菜園・苗畑・土壌保全・植樹）
	学校保健	ハ-3	保護者対象の保健・エイズ学習会
	幼稚園保健	ハ-4	保健活動のための関係者会議
ニ. 地域に開かれた学校の実践	地域リーダー育成	ニ-1	村長老対象の地域の健康のための戦略会議（集合型研修）
	地域住民対象の公開学習会	ニ-2	エイズ・母性保護公開学習会

本事業の実施概況について、初年度の計画、初年度終了時点での実施概況、計画の達成度は下記のとおりである。

1-1-1. 事業形成・評価会議

【初年度実施概況】

ミグワニ県知事との事業形成に関する協議を通じて、当初予定していた郡・区レベルでの行政官、教育区レベルでの教育関係者との定期的な事業進捗確認に加えて、その上位の開発事業の調整機関であるミグワニ県開発委員会(DDC)にも参加することとなった。2011年3月4日、ミグワニ県知事の提案により、当会事業に関する合意形成を主な目的としたDDC会議を実施し、県庁の各部局責任者ならびに開

発関係者に本事業の趣旨について共有し、事業実施の同意を得た。さらに、7月1日と12月9日のDDC会議にて、事業進捗の報告をおこなった。また、当初計画になかったが、本事業への積極的協働を希望する県教育局長の提案で、県教育局長の主催での当会と教育官との協議を定期的に行なうこととなり、事業の実施に関する綿密な連携協議が成立した。

郡・区レベルでの行政官との定期会議については、ミグワニ県の下位の行政単位が、現在3郡15区36準区から構成させているが、郡・区・準区をそれぞれ管轄する郡長・区長・助役の多くが空席で、既存の行政官による兼轄が多いため、当初予定していた郡長主催による区長会議、区長主催による助役会議を、3郡において、それぞれ郡長主催による区長・助役会議として、事業についての説明と合意と協力体制の構築について協議した。

教育区レベルでの教育関係者との定期会議については、ミグワニ県の下位の教育行政単位は、現在5教育区から構成されているが、それぞれ担当教育官主催による小学校校長と学校運営委員会(SMC)議長(保護者代表)を対象とした教育関係者会議を開催し、事業についての説明と合意と協力体制の構築について協議した。

また、初年度計画には含まれていないが、県保健局と事業内容・地域社会の課題について協議した。主に、小学校での深刻な土壌流出に関して、公衆衛生官が小学校を視察し、土壌保全活動を実施することの必要性の認識を促すとともに、教室の崩壊を防ぐための継続的な協力を求めた。

【初年度計画の達成度】

中間報告時点で、初年度の計画を達成していたが、報告以降も事業進捗に応じて関係者との協議を実施した。また、上記のとおり、計画にはなかった保健局との協議をおこない、主に小学校での環境活動への理解と関与を得ることができた。

1-1-1. 質の高い教育の実現

【初年度計画】

小学校・幼稚園・成人学級などの教員を対象に、エイズ・ライフスキル・早期妊娠予防・環境と健康教育に関する研修を実施・モニタリングする。

- ・小学校では、県全域でのエイズ教育の集合研修の実施に重点をおき、多くの教員への研修と第3課程までの実施をめざす。また、環境活動については、特定校を選定して、継続して訪問して活動の定着をはかるモデル校づくりを優先する。
- ・幼稚園では、県全域での保健・エイズの集合研修を実施し、教師の保健能力の向上に努めるとともに、保健活動形成のための関係者会議を実施する。

【初年度実施概況】

小学校教員エイズ教育研修は、集合研修として、県全域となる5教育区において第1課程を2回ずつ、第2課程を1回ずつ、第3課程を1回ずつの計20回の研修を実施した。また、当会専門家が助言者と

して参加するなかで、小学校教員研修を修了した教員によるエイズ公開授業が9校で実施、エイズ子ども発表会を1校で実施した。

幼稚園での保健活動については、保健・エイズ知識に関する研修を5教育区において、3日間の前期課程を1回ずつ、2日間の後期課程を1回ずつの計10回の研修を実施した。

【初年度計画の達成度】

小学校教員を対象としたエイズ教育の集合研修は、初年度の計画通り、県全域となる5教育区において、第1課程を2回ずつ、第2課程を1回ずつ、第3課程を1回ずつ実施し、計501名の教員が研修に参加した。エイズ公開授業は、9校で実施し、初年度計画の目標である5校を上回った。子ども発表会については、5校で実施する予定であったが、1校のみでの実施となった。

小学校での環境活動については、土壌浸食が進んでいる小学校での保護者の参加による緊急の土壌保全活動を優先したため取り組んだため、教員への研修は実施しなかった。

幼稚園での保健活動については、幼稚園教師に対して、3日間の基礎保健研修と2日間の専門保健研修とを、県全域となる5教育区において1回ずつ計10回の研修を実施し、計92名の教師が5日間の研修を修了した。

1-1-ハ. 住民参加による学習環境の形成

【初年度計画】

小学校・幼稚園の保護者が、子どもの教育と健康に関連する基礎的な知識・技能・視点、学校運営についての研修に参加することを前提として、その後に、保護者の具体的な学習環境の改善活動に協力する。

- ・施設拡充では、ニーズが明確な新設校での教室建設を行なう。並行して、完全校での教室建設のニーズ、既存教室の老朽化状況と構造補修の可能性、水やトイレのニーズについての調査を行なう。
- ・環境活動では、活動意欲のある学校を選定して、その特定校で保護者への研修と具体的な環境活動を形成する。
- ・学校保健では、教員エイズ研修の参加教員の提案で、保護者へのエイズ学習会へと展開していくことをめざす。
- ・幼稚園保健では、保健・エイズ研修を修了した教師による保健活動の形成に協力するため保護者代表・校長も交えた関係者会議を開催し、必要に応じて、保健活動のための体重計・健康カードの供与を行なう。

【初年度実施概況】

施設拡充では、教室のニーズが高い新設校9校を教育事務所より協力候補校として推薦を受け、教育区での教育関係者との協議で確認した。それら候補校を訪問して、事業実施校の選定作業をおこなった。そのなかから3校と、教室建設準備を通じた学校運営能力向上事業を実施する覚書1を締結し、研修の終了と建設資材収集が完了した時点で、教室建設のための技術協力と資機材供与を合意する覚書2を締

結した。

小学校での環境活動については、土壌浸食が深刻な小学校 2 校において、教室の崩壊を防ぐための土壌保全活動を実施している。公共施設を管理・監督する立場にあるミグワニ県保健局の公衆衛生官も小学校を視察し、土壌浸食に伴う教室崩壊の危険性を指摘し、教室の周りの保護壁設置など保全活動について具体的な助言を行なった。また、教室建設活動をおこなっている 1 校は、校庭が斜面にあり土質が脆いなかで、すでに土壌浸食が始まっているため現時点で土壌保全を行なわなければ急速に浸食がすすむ危険があるため、土壌保全などの環境の学習会の実施と、保護者の保全活動を促した。

学校保健においては、エイズ教員研修参加教員へ、保護者への当会専門家によるエイズ学習会の実施を働きかけ、1 校で学習会を実施した。

幼稚園保健では、当会保健研修を修了した幼稚園教師が保健活動を形成するための重要要素として、小学校校長や保護者の理解の促進につながる関係者会議を想定していたが、関係者会議の実施内容を変更したため、2 年度での実施へと変更している。

【初年度計画の達成度】

初年度は、新設校 3 校において、教室建設の準備段階としての覚書 1 による保護者への学校運営能力向上の活動を開始した。3 校とも、学校の土地保全を確認する公文書の確保が十分でなく、将来、土地問題が発生するリスクがあるため、ある程度時間を要しても、学校が公文書を確保することを優先した。この結果、3 校とも公文書による土地保全が達成され、覚書 2 による教室建設作業を開始することができた。

初年度は、3 教室の完成をめざしたが、終了時点での教室建設の進捗状況は、1 校がほぼ完成、1 校が上部壁まで、1 校が基礎工事の段階となった。

小学校での環境活動については、初年度計画では 5 校で活動をおこなう計画であったが、土壌保全活動の緊急性の高い 3 校での活動を優先した。

学校保健における、小学校での保護者へのエイズ学習会は、1 校での実施にとどまり、計画の 5 校に達することができなかった。

幼稚園保健における、活動形成のための校長・保護者との関係者会議は、前述のとおり、関係者会議の実施内容を変更したため、2 年度での実施へと変更した。

1-1-2. 地域に開かれた学校の実践

【初年度計画】

対象地域の住民が、現在抱える生存の課題であるエイズ・母性保護・環境と健康などに関連する基礎的

な知識・技能・視点を習得し、自らの健康と地域の住民・子どもの健康を守る意識と行動が実践されることをめざす。

- ・地域リーダー育成では、村の公的リーダーである村長老の知識向上と当会との関係構築をめざして、県全域で地域の健康のための戦略会議を実施する。
- ・住民対象の公開学習会では、前述の関係構築した村長老の協力で、県全域でエイズおよび母性保護学習会を実施し、完了することをめざす。

【初年度概況】

地域リーダー育成については、ミグワニ県 15 区のうち 1 区は本事業実施前に事前調査事業として実施済みで、残り 14 区のうち 12 区において、村長老を対象とした保健研修ならびに地域の健康のための戦略会議を実施した。

住民対象の公開学習会では、地域リーダー育成を実施した 12 区において、59 村クラスターでのエイズならびに母性保護公開学習会を実施した。

【初年度計画の達成度】

地域リーダー育成について、村長老を対象とした保健研修・戦略会議を、初年度計画では全県で実施完了する予定であったが、2 区で未実施となった。この 2 区に関しては、第 2 年度の 3 月末までに実施・完了する。

エイズならびに母性保護公開学習会についても、全県で実施する計画であったが、残り 2 区で未実施となった。この 2 区及び、対象地域住民の活動や、区長・助役といった地域リーダーの不在などによって延期となっている学習会については、第 2 年度の 6 月上旬までに実施・完了する。

2. 延べ裨益者数・研修指標モニタリング

[学習機会としての効果]

本事業は、対象地域の住民が、子どもをとりまく健康の課題とその対処について、知識・技能・視点として学び、教育の質の向上につながる自律的な活動を実践することによって、初等教育の普及をめざすものである。このため、住民が本事業をとおして裨益する学習機会が、第一義的な事業効果であり、その効果を計測する数値として、活動ごとの研修を受ける延べ裨益者数と研修指標を設定した。申請時の年度末の予想人数すなわち申請時目標に対して、中間報告までに達成した延べ裨益者数・研修指標を報告し、あわせて、事業年度の終了時までに達成できるとされる見込みの延べ裨益者数・研修指標を報告して、事業の進捗状況を確認する。

なお、研修指標(T 指標)は、ひとりの裨益者が 1 日半日 (3 時間程度) の研修・学習会などに参加することを 1 単位として積算する。

①行政との合意形成ならびに政策担当者の課題認識の形成をめざした事業形成・評価会議では、ミグワ

ニ県知事ならびに県教育局長の積極的な支援を受けて、申請時の年度末目標を上回る関係者の参加を得たが、中間報告時に行なった再設定目標はわずかながら下回った。第2年度では、より行政関係者を巻き込んだ活動となるよう、定期的な活動の報告や計画・状況・課題の共有に努める。

②質の高い教育の実現は、主に教員向け研修で積極的な活動への参加が得られ、年度末達成目標を上回った。

③住民参加による学習環境の形成については、教室建設事業、環境事業共に予想以上の保護者の活動への参加が得られ、申請時に設定した年度末目標を上回った。

④地域に開かれた学校の実践については、村長老との関係構築が順調に進展し、公開学習会への一般住民の参加状況が好調であったため、申請時に設定した年度末目標を、中間報告時に大幅に上方修正したが、一部地域において、他の地域の活動や雨季と重なったことで、学習会の延期が続くケースがあった。予定では県全域での学習会実施完了を目標にしていたが、2区を残すこととなった。これにともない申請時の年度末目標は達成したものの、中間報告時の年度末修正目標は達成することができなかった。

延べ裨益者数モニタリング表（初年度）

単位：人

大項目		年度初 設定目標	中間時 成果	中間時 再設定目標	年度末 成果
イ	事業形成・評価会議	115	207	250	241
ロ	質の高い教育の実現	625	294	625	808
ハ	住民参加による学習環境の形成	1,500	790	1,500	2,213
ニ	地域に開かれた学校の実践	1,768	2,199	3,500	3,195
計		4,008	3,490	5,875	6,438

研修指標モニタリング表（初年度）

単位：T指標

大項目		年度初 設定目標	中間時 成果	中間時 再設定目標	年度末 成果
イ	事業形成・評価会議	115	207	250	241
ロ	質の高い教育の実現	2,050	1,145	2,050	3,215
ハ	住民参加による学習環境の形成	1,700	780	1,700	2,213
ニ	地域に開かれた学校の実践	1,936	2,390	3,700	3,424
計		5,801	4,522	7,700	9,074

[活動ごとの効果] ※【 】内は直接裨益数

イ. 事業形成・評価会議

- ・課題理解と対処意識が向上する県開発委員会行政官【初年度目標：0人】【初年度実績：47人】
- ・課題理解と対処意識が向上する県教育局教育官【初年度目標：0人】【初年度実績：47人】
- ・課題理解と対処意識が向上する郡レベル行政官【初年度目標：15人】【初年度実績：31人】
- ・課題理解と対処方針が改善する区レベル行政官【初年度目標：50人】【初年度実績：0人】
- ・課題理解と対処方針が改善する教育関係者【初年度目標：50人】【初年度実績：147人】

ロ. 質の高い教育の実現

◆小学校

- ・基礎的なエイズ教育を教授できる教員【初年度目標：200人】【初年度実績：269人】
- ・高度なエイズ教育を教授できる教員【初年度目標：50人】【初年度実績：113人】

◆幼稚園

- ・保健知識・技能を向上させた幼稚園教師【初年度目標：50人】【初年度実績：188人】

ハ. 住民参加による学習環境の形成

◆教室建設

- ・学校運営能力・建設技術が向上する保護者数【初年度目標：600人】【初年度実績：1293人】

◆水タンクを設置する学校数【初年度目標：1校】【初年度実績：3校】

◆環境活動

- ・環境活動を実施する学校数【初年度目標：5校】【初年度実績：3校】
- ・学校運営能力・環境知識が向上する保護者数【初年度目標：500人】【初年度実績：493人】

◆保健・エイズ学習会

- ・保健・エイズ学習会を実施する学校数【初年度目標：5校】【初年度実績：1校】

◆幼稚園保健活動のための関係者会議

関係者会議の実施内容を変更したため、2年度での実施へと変更した。

ニ. 地域に開かれた学校の実践

◆村長老対象地域の健康のための戦略会議

- ・地域の健康のための戦略会議に参加する村長老数【初年度目標：168人】【初年度実績：251人】

◆エイズ・母性保護公開学習会

- ・エイズ公開学習会に参加する住民数【初年度目標：800人】【初年度実績：1412人】
- ・母性保護公開学習会に参加する住民数【初年度目標：800人】【初年度実績：1516人】

3. 事業実施詳細

3-イ. 事業形成・評価会議

3-イ-1. ミグワニ県レベル行政官との定期協議

a) ミグワニ県開発委員会

ミグワニ県知事との事業形成に関する協議を通じて、当初予定していた郡・区レベルでの行政官、教育区レベルでの教育関係者との定期的な事業進捗確認に加えて、その上位の開発事業の調整機関であるミグワニ県開発委員会(DDC)会議にも参加することとなった。

これまで、3回のDDC会議に出席し、県庁の各部局責任者ならびに開発関係者の延べ47名へ本事業の実施状況ならびに当会からみる地域の課題を報告して、認識の共有を行なった。

表 1a : ミグワニ県開発委員会

実施日	対象	会場	修了者	T 指標
2011年3月4日	ミグワニ県庁部局責任者ほか	ミグワニ職業訓練校	11	11
2011年7月1日	ミグワニ県庁部局責任者ほか	ミグワニリソースセンター	18	18
2011年12月9日	ミグワニ県庁部局責任者ほか	ミグワニリソースセンター	18	18
計			47	47

b) ミグワニ県教育局長会議

本事業への積極的協働を希望する県教育局長の提案で、定期的に教育官との協議を行なうことになった。教室建設・補修の候補校の選定、教員エイズ研修・幼稚園教師保健研修の内容の確認や開催に関する協議、早期性交渉・妊娠予防研修の実施の是非、ライフスキル教科書の配布と活用などを協議した。

この会議での特筆できる成果として、当会より新設校での土地の保全が曖昧であること、学校に土地保全を働きかけていることを報告し、教育官の協力をえて関連する小学校全ての土地問題を解決した。また、当会が、教室補修の対象校を検討する過程で、多くの小学校が深刻な土壌浸食に直面しているが、保護者など関係者が具体的な対策をたてていない状況を確認し、本会議で指摘し、教育官が課題として認識した。事業を開始した当初は、小学校女児の妊娠は例外的事例に過ぎず、地域のなかで広範にみられる構造的な課題とは認めていなかったが、当会の半年の活動と協議を重ねるなかで、局長が小学校女児の早期妊娠を構造問題であることを認め、2年度は、早期性交渉・妊娠予防研修を実施することで合意した。さらに、この研修の実施にあたって、当初、教育官から子どもにコンドームを教えることについての強い反対意見があったが、協議をへて、コンドームを教えることへの合意が形成できた。

これまで、3回の教育局長・教育官会議に参加し、計16名との協議を実施した。

表 2b : ミグワニ県教育局長会議

実施日	対象	会場	修了者	T 指標
2011年9月9日	ミグワニ県全教育区：教育官	ミグワニ教育事務所	5	5
2012年1月9日	ミグワニ県全教育区：教育局長、教育官ほか	ミグワニ教育事務所	7	7
2012年2月16日	ティタニ教育区、ゾコア教育区、ゼルニ教育区、グタニ教育	ミグワニ教育事務所	4	4

	区：教育官			
計			16	16

3-1-2. 郡・区レベル行政官との定期協議

ミグワニ県の下位の行政単位が、現在 3 郡 15 区 36 準区から構成させているが、郡・区・準区をそれぞれ管轄する郡長・区長・助役が多くが空席で、既存の行政官により兼轄が多いため、当初予定していた郡長主催による区長会議、区長主催による助役会議を、3 郡において、それぞれ郡長主催による区長・助役会議として、事業についての説明と合意と協力体制の構築について協議した。

このなかで、行政官は、ミグワニ県全域の一般住民が、エイズならびに母性保護に関する基礎情報を学ぶことの重要性と、当会専門家による学習会開催に同意した。さらに、この学習機会に住民の参加を促すためには、村長老が保健に関する一定の知識をもって、住民の参加を勇気付けるリーダーシップの発揮が重要であり、そのために、村長老をリーダーとして育成する保健研修を含む地域の健康のための戦略会議を実施することを同意した。

これまで、3 郡において行政官との定期協議を 1 回ずつ開催し、郡長・区長・助役あわせて 31 名が参加した。

表 3：郡・区レベル行政官との定期協議

実施日	対象	会場	修了者	T 指標
2011 年 3 月 11 日	ミグワニ郡：郡長・区長・助役	ミグワニ職業訓練校	12	12
2011 年 3 月 24 日	ゼルニ郡：郡長・区長・助役	ゼルニ区長事務所	4	4
2011 年 3 月 31 日	グタニ郡：郡長・区長・助役	グタニ区長事務所	15	15
計			31	31

3-1-3. 教育区レベル教育関係者との定期協議

ミグワニ県の下位の教育行政単位は、現在 5 教育区から構成されているが、それぞれ担当教育官主催による小学校校長と学校運営委員会(SMC)議長(保護者代表)を対象とした教育関係者会議を開催し、事業についての説明と合意と協力体制の構築について協議した。

このなかで、初年度の取り組みとして、教室建設のニーズが高い新設校に限定した住民参加による学校運営能力向上・教室建設事業、小学校教員を対象としたエイズ教育研修事業を早速開始することに合意した。その後、幼稚園教師への保健研修と保健活動形成、小学校での環境活動形成に取り組むことも合意した。

これまで、5 教育区において教育関係者との定期協議を 1 回ずつ開催し、教育関係者 147 名が参加した。

表 4：教育区レベル教育関係者との定期協議

実施日	対象	会場	修了者	T 指標
2011年3月17日	ティタニ教育区： 教育官・校長・SMC 議長	ティタニ TAC ホール	37	37
2011年3月29日	グタニ教育区： 教育官・校長・SMC 議長	グタニ教育事務所	30	30
2011年4月6日	ミグワニ教育区： 教育官・校長・SMC 議長	ミグワニ教育事務所	42	42
2011年5月11日	ゾコア教育区： 教育官・校長・SMC 議長	ゾコア小学校	21	21
2011年6月7日	ゼルニ教育区： 教育官・校長・SMC 議長	ゼルニ教育事務所	17	17
計			147	147

3-0. 質の高い教育の実現

3-0-1. 教員エイズ教育研修（①第1課程、②第2課程、③第3課程）

小学校教員を対象に、エイズに関する基礎知識・共生の視点および予防のための知識・技能に関する研修、学習指導要領に沿った教案づくり演習、教員グループによる模擬授業形式での演習、同僚教員を招いたエイズ公開授業、エイズ子ども発表会のための発表技術の演習などに関する研修の実施をめざしている。さらに、エイズ公開授業や子ども発表会を企画している小学校を当会専門家が訪問し、事前準備や当日の実施に対しての個別研修も実施する。

①小学校教員エイズ教育研修第1課程：理科におけるエイズ教育

研修第1課程では、エイズ教育に関して、ケニアの小学校教育のなかでの理科科目の果たす役割について注目し、参加教員が、理科を扱いながら教員がエイズ教育を実践していくうえでの重要な基礎となる理学的知識とエイズ問題に対する基本的視点を獲得できる研修をめざした。

ケニアの学習指導要領のなかではエイズの主流化が実践され、教科横断的にエイズを扱うことを通して、子どもたちのライフスキルの向上をめざしている。さまざまな出版社から出版されている教科書では、理科や社会科、宗教、数学、英語、スワヒリ語などほぼすべての教科の中にエイズが統合されている。ここにおいて着目したのが、小学校でのエイズ教育における理科の役割と理科におけるエイズの取り扱われかたである。理科においては、エイズに関する基本的な理学的知識が包括的かつ体系的に扱われており、加えてエイズおよび HIV 陽性者・エイズ発症者に対する人々の態度・考え方や、陽性者へのサポートなどの社会的な側面も含んだもので、単なる知識の伝達のみにとどまらない内容となっている。そして、理科以外の教科に統合されているエイズの扱いを見ると、理科で包括的に扱われている理学的知識を土台として、その知識を断片的に様々な単元で扱い、さらに、理科でも扱われているエイズの社会的側面をより広くかつ掘り下げて扱っている。すなわち、理科が小学校におけるエイズ教育の中で、理学的側面および社会的側面両者から見て基礎となる役割を果たしていると言えよう。そのため、第1課

程の研修において理科を主題として扱うことで、すべての教科で扱われているエイズの理学的知識を、理科教員のみならず全ての教員が習得し、かつエイズ問題をとらえる基本的視点を教員が獲得することをめざした。

研修内容は、日常の授業に直結するものとし、研修によって参加教員が自分の授業においてすぐに実践できるよう配慮した。このため、研修の計画策定においては、専門家および調整員が、学習指導要領と教科書とを詳細に分析・検討し、さらに、当会のこれまでの事業地での経験をもとに、対象地域固有の子どもを取り巻く HIV 感染の危機や地域住民のエイズ認識や対応行動を常に想定しながら、慎重な検討と準備会議での話し合いを繰り返した。

研修第 1 課程の構成は次のとおりである。

- ① エイズ教育の意義・重要性
- ② エイズの統合：教科書分析とエイズ教育における理学的知識と社会的側面の重要性
- ③ 理科におけるエイズ教育の扱い
- ④ エイズの理学的基礎知識
- ⑤ エイズ教育の授業案作成およびモデル授業

これまでに、5 教育区において小学校教員対象エイズ教育研修第 1 課程を 2 日間の日程で 2 回ずつ実施し、269 名が修了した。

表 5：教員エイズ教育研修第 1 課程

実施日	対象	会場	修了者	T 指標
2011 年 3 月 21・22 日	ティタニ教育区：教員	ティタニ TAC ホール	32	132
2011 年 5 月 12・13 日	グタニ教育区：教員	グタニ小学校	30	122
2011 年 5 月 19・20 日	ミグワニ教育区：教員	ミグワニリソースセンター	46	180
2011 年 6 月 2・3 日	ゾコア教育区：教員	ゾコア小学校	24	96
2011 年 6 月 13・14 日	ゼルニ教育区：教員	ゼルニ小学校	15	70
2011 年 6 月 20・21 日	グタニ教育区：教員	グタニ小学校	29	116
2011 年 6 月 23・24 日	ティタニ教育区：教員	ティタニ TAC ホール	32	146
2011 年 6 月 29・30 日	ミグワニ教育区：教員	ミグワニ小学校	21	84
2011 年 7 月 5・6 日	ゾコア教育区：教員	ゾコア小学校	18	86
2011 年 7 月 14・15 日	ゼルニ教育区：教員	ゼルニ小学校	22	88
計			269	1120

②小学校教員エイズ教育研修第 2 課程：低学年における言語科目とエイズ教育

第 2 課程は低学年におけるエイズ教育に焦点を当て、内容を検討・構築した。第 1 課程で扱ったように、理科がエイズ教育の中で基盤的な役割を果たすと同時に、第 2 課程で着目した低学年・言語科目におけるエイズ教育も、低学年を担当する教員のみならず、すべての教員にとってエイズ教育に取り組む

うえで重要な視点と考え方が得られるような内容となるように構成した。同時に、低学年におけるエイズ教育の重要性として、子どもたちがエイズに対する適切な態度を身につけることがある。子どもたちが高学年でエイズを体系的に学んでいく前段階としてのエイズ教育の重要性を教員が理解し、日常の授業の中で子どもの理解度と現実に合わせて実践していけるようになるためのトレーニングをめざした。

小学校低学年のエイズ教育の大きな特徴は、ひとつはエイズについての理科的知識、社会的側面が体系だった形でなく、一部が様々な単元と教科に分散して扱われているということである。そのため、ひとつの教科でもエイズについて1学年を終了するまでに繰り返し扱われているという利点があると同時に、部分的な内容しか扱われていないため、エイズについての誤解や偏った考えを導きやすいという危険もある。特に、エイズについて一部が扱われている単元で、例えば意欲を持った教員が、さらなる説明を生徒に与えようとする、教員個人の持っているエイズに対する考え方や情報が大きく反映されることとなり、教員が誤った知識を持っていたり、エイズや HIV 陽性者に対する偏見を持っていたりする場合、それが直接表現されることとなり、授業を通してエイズ問題が再生産されるということに陥りやすい。このような状況は先行事業の中で観察されたことであり、例え教員が意識していなくとも、HIV 陽性者と不道德な行動を結びつけたり、宗教観からコンドームの使用に抵抗のある教員が、その効果について懐疑的な説明をすると言うことなどが見られている。また、教科書自体が、エイズの影響を受けた学習者が存在することを十分に配慮できていない、エイズに対する誤解を招くような記述をしている部分も多く存在しており、教員自身がエイズについての適切な知識と視点を持っていなければ、容易に本来の目的に逆行するエイズ教育が実践されてしまうこととなる。

また、低学年のエイズ教育の特徴として、エイズの取り扱われ方の多くが、エイズについての恐怖心を子どもに植えつけるものとなっている点がある。これは第1課程のトレーニングでも一部扱ったが、この傾向が低学年でのエイズ教育に顕著に現われていると同時に、低学年の子どもたちへのその影響は、この年代において様々な態度や行動の基盤づくりが教育を通して行なわれることを考えると深刻である。エイズに対する恐怖心を植えつけることによって HIV 感染予防が可能になると考えがちであるが、実際は感染経路や感染予防の具体的な方法を理解していなければ、エイズが日常化している地域では感染は防げない。また、恐怖心をもつことによって陽性者を避けるという行動が誘発され、このことは、他者の感染を推測し疑い社会的に排除する意識・態度の形成につながる危険があり、どの学年にも在籍しているとされるエイズ孤児たちの小学校や地域社会での排除にもつながる。エイズに対する恐怖心を植えつける教育方法は高学年でも同様な傾向が見られ、両低高学年の教員にとって、エイズ問題をとらえる基盤となる視点を獲得するということは重要である。

トレーニング第2課程の構成は、次のとおりである。

- ① トレーニング第1課程の振り返りおよび経験共有
- ② 低学年のエイズ教育の意義・重要性
- ③ 幼い子どもたちが直面するエイズ感染の危険
- ④ 低学年でのエイズ教育の扱い
- ⑤ エイズ教育と意図していないメッセージ
- ⑥ 教案作成とモデル授業

これまでに、5 教育区において小学校教員対象エイズ教育研修第 1 課程を 2 日間の日程で 1 回ずつ実施し、119 名が修了した。

表 5：教員エイズ教育研修第 2 課程

実施日	対象	会場	修了者	T 指標
2011 年 9 月 21・22 日	ゼルニ教育区：教員	ゼルニ小学校	21	88
2011 年 9 月 26・27 日	ディタニ教育区：教員	ディタニ TAC ホール	33	132
2011 年 9 月 28・29 日	グタニ教育区：教員	グタニ小学校	31	124
2011 年 10 月 11・12 日	ミグワニ教育区：教員	ミグワニ小学校	20	80
2011 年 10 月 13・14 日	ゾコア教育区：教員	ゾコア小学校	14	56
計			119	480

③小学校教員エイズ教育研修第 3 課程：高学年におけるライフスキルとエイズ教育

第 3 課程トレーニングの内容には高学年を対象としたエイズ教育、ライフスキル教育に焦点をあてた。参加者が、高学年に達する子どもたちの発達過程や理解の度合いを意識し、適切な指導を行なっていくようになるために、第 1 課程から繰り返し強調しているエイズへの理科的な理解に加え、性感染症・早期妊娠の基礎的理科知識の向上、高学年の子どもの置かれた状況・社会的側面に配慮したライフスキル・エイズ教育の日常的な実践につながるトレーニングをめざした。

高学年の年齢に達する子どもは身体的・精神的発達の過渡期にあり、こうした急激な変化による戸惑いから感情的に不安定になりがちである。そして、こうした過程で、対象地域でしばしば指摘される大人による性的搾取や、アルコール飲用の誘惑、または内発的な性への欲求への対処の難しさからさまざまな問題に巻き込まれる危険がある。第 3 課程トレーニングでは、このような高学年の子どもの置かれた状況を教員が理解し、そうした状況に配慮したエイズ教育を行なっていくために重要な知識を提供できるよう内容構成とした。また、教員や保護者の目の届かない場面でも、子どもたち自身が困難な状況に直面していることを想定し、子どもたち自身が適切な判断をし、日頃から他者と良好な関係を保っていく姿勢が必要となる。この視点から、トレーニングのなかでライフスキル教育を重視し、子どもに適切な指導が行えるよう促した。ライフスキル教育については、2010 年より教授科目とされており、小学校教員も科目名として知っているが、ミグワニ県でみる限り、教育省による在職教員への教授法研修は行なわれておらず、ライフスキル教科書の入手もできない状況にある。このため、ライフスキルの概念についても、各教員間で理解の度合いに差があることを想定して、すべての参加教員の間で共通的な理解を形成するために導入的な説明から行うこととした。

また、エイズ・性感染症・早期妊娠の基礎的理解を得ることで、各教員がこうした危険に陥りやすい時期にある子どもたちに適切かつ自信を持った指導が可能となるよう、これらの原因や症状、危険性を整理する機会を設けた。低学年のものに比べ、高学年の理科や宗教教育の教科書にはエイズ、性感染症、妊娠、薬物依存などに関する記述が多くみられ、この年齢の子どもたちの発達を意識し、それにより直

面する危険性に注意が呼び掛けられている。第3課程の研修を通じて、各教員がこうした教材を使用し、ライフスキル教育と結び付けながら適切な助言・指導を実践していくことをめざし、教員自信がこれらの危険性への基礎的な理解を形成する機会を設けた。

さらに、第2課程で触れた点だが、教科書中にあるエイズの側面が統合された記述や詩を扱う際、エイズの負のイメージが強調された表現があった場合に、こうした意図しないメッセージが HIV 陽性者やその関係者にいかに精神的影響を与えうるか、ということを考慮し、教員が工夫をしてこうした差別につながりがちな表現を軽減していくことの重要性を再度指摘し、エイズが日常化している対象地域における陽性者との共生の可能性を考えることとした。

トレーニング第3課程の構成は、次のとおりである。

- ① トレーニング第1課程・第2課程の振り返りおよび経験共有
- ② ライフスキル教育
- ③ 高学年のエイズ教育の意義・重要性
- ④ 高学年でのエイズ教育の扱い
- ⑤ 理科的知識（エイズ、性感染症、早期妊娠）
- ⑥ 教材中にみられるエイズの差別的表現の軽減
- ⑦ 教案作成とモデル授業

これまでに、5教育区において小学校教員対象エイズ教育研修第3課程を2日間の日程で1回ずつ実施し、113名が修了した。

表 6：教員エイズ教育研修第3課程

実施日	対象	会場	修了者	T 指標
2012年1月26・27日	ゼルニ教育区：教員	ゼルニ小学校	21	84
2012年2月2・3日	グタニ教育区：教員	グタニ小学校	25	100
2012年2月8・9日	ディタニ教育区：教員	ディタニ TAC ホール	33	132
2012年2月15・16日	ゾコア教育区：教員	ゾコア小学校	18	72
2012年2月22・23日	ミグワニ教育区：教員	ミグワニリソースセンター	13	60
計			113	484

3-ロー1-④. エイズ公開授業

研修に参加した教員が、実際に授業案を作成し、教室でのエイズ教育の授業を、同僚の教員に公開することで、研修参加教員から実践的なエイズ教育を学ぶことができる。また、公開授業直後に教員同士でエイズ教育について話し合う機会を設けることで、エイズ教育の質の向上や教員間の協力関係の促進を図る。対象地域では、これまで公開授業の経験がないため、その実践には、研修参加教員の能力や、学校における立場、校長のエイズ問題への取り組み姿勢、教員間の関係など多くの困難がともなう。そのため、エイズ公開授業実施の準備段階から、当会専門家による個別学校訪問を通じた協力を行なってい

る。

これまでに、15 小学校において、エイズ公開授業のための個別研修を実施し、教員 51 名が修了した。

表 7：エイズ公開授業のための個別研修

実施日	対象	会場	修了者	T 指標
2011 年 7 月 20 日	マサーニ小学校	マサーニ小学校	4	4
2011 年 7 月 20 日	カンベンベ小学校	カンベンベ小学校	3	3
2011 年 7 月 22 日	キルング小学校	キルング小学校	4	4
2011 年 7 月 22 日	グタニ小学校	グタニ小学校	3	3
2011 年 7 月 25 日	トゥミラ小学校	トゥミラ小学校	4	4
2011 年 11 月 15 日	カニャー小学校	カニャー小学校	5	5
2011 年 11 月 15 日	キュシャニ小学校	キュシャニ小学校	3	3
2011 年 11 月 15 日	ターナザウ小学校	ターナザウ小学校	3	3
2011 年 11 月 16 日	カバリャニ小学校	カバリャニ小学校	5	5
2011 年 11 月 16 日	キャンボー小学校	キャンボー小学校	3	3
2011 年 11 月 17 日	マズンジニ小学校	マズンジニ小学校	3	3
2012 年 2 月 21 日	ムスアニ小学校	ムスアニ小学校	2	2
2012 年 2 月 21 日	ムークニ小学校	ムークニ小学校	3	3
2012 年 2 月 21 日	ショムングレ小学校	ショムングレ小学校	3	3
2012 年 2 月 21 日	カニェキニ小学校	カニェキニ小学校	3	3
計			51	51

これまでに、9 小学校において、当会専門家が助言者として出席するエイズ公開授業を実施し、教員 60 名が修了し、小学生 456 名が授業を受けた。

表 8：エイズ公開授業

実施日	対象	会場	修了者	T 指標	子ども
2011 年 7 月 26 日	マサーニ小学校	マサーニ小学校	4	4	41
2011 年 7 月 27 日	カンベンベ小学校	カンベンベ小学校	3	3	24
2011 年 9 月 20 日	トゥミラ小学校	トゥミラ小学校	9	9	53
2011 年 9 月 23 日	グタニ小学校	グタニ小学校	9	9	58
2011 年 10 月 11 日	ゼルニ・アカデミー	ゼルニ・アカデミー	8	8	27
2011 年 11 月 22 日	キュシャニ小学校	キュシャニ小学校	7	7	-
2012 年 2 月 9 日	カバリャニ小学校	カバリャニ小学校	6	6	7
2012 年 2 月 20 日	ゴニ小学校	ゴニ小学校	7	7	170
2012 年 2 月 23 日	ムズンズ小学校	ムズンズ小学校	7	7	76

計	60	60	456
---	----	----	-----

(注)キュシャニ小学校で、エイズ公開授業を受けた子ども数は記録漏れとなった。

3-ロー1-⑤. エイズ子ども発表会

子どもたちが日常の授業を通じてエイズについて学んだことを、詩や歌、劇、研究発表などの形で、小学校の保護者や周辺の地域住民に発表する。発表会を通して子どもたちがエイズ問題についての理解を深めると共に、参観する大人たちが、エイズに関する知識を獲得したり、確認したり、エイズ問題の社会的側面について意識を高め、地域社会としてエイズ問題に取り組んでいく意欲の向上をめざす。さらに、エイズ子ども発表会の同日直後に、発表会に参加した学校地域社会の関係者(教員・保護者・行政官・教育官・保健官・宗教指導者・地域開発組織・各種住民グループなど)が発表会の内容を振り返りながら、学校地域社会として子どもをエイズから守る方策について話し合う関係者会議の実施を推奨することを通して、小学校と地域社会・家庭でのエイズ教育について話し合い、教員と保護者・地域住民のエイズ問題への取り組みのための協力関係が構築されることをめざす。

当会専門家が、エイズ子ども発表会の準備指導のために、該当する教員に対して指導・助言をおこなった。1小学校にて準備指導のための訪問をおこない、6名の教員と準備のための会議をおこなった。

表9：エイズ子ども発表会準備指導

実施日	対象	会場	修了者数	T指標
2012年2月20日	ゴニ小学校	ゴニ小学校	6	6
計			6	6

1小学校にて、当会スタッフ・専門家が参加してエイズ子ども発表会が実施された。2名の教員が参加した。

表10：エイズ子ども発表会

実施日	対象	会場	修了者数	T指標
2012年2月1日	カンベンベ小学校	カンベンベ小学校	2	2
計			2	2

なお、上記のエイズ子ども発表会には子ども33名と大人16名が参加した。

表11：エイズ子ども発表会大人数と子ども数

実施日	対象	会場	大人	子ども
2012年2月1日	カンベンベ小学校	カンベンベ小学校	16	33
計			16	33

なお、大人の子どもの発表会への参観は、地域住民のエイズ学習の効果を含むものであるため、参観者16名は、エイズ学習会の直接裨益者数に計上し、そのT指標16単位も計上した。

3-0-2. 環境活動と子どもの健康のための特定校での研修

小学校での環境活動については、土壌浸食が進んでいる小学校での保護者の参加による緊急の土壌保全活動を優先して取り組んだため、教員への研修は実施しなかった。

3-0-3. 保健・エイズ知識に関する研修（集合型研修）

初年度事業では、対象地域全域の5教育区で、幼稚園教師への保健・エイズ研修を実施した。食糧の不足や偏った食事による栄養失調、不衛生な環境に関連した下痢や感染症の発症など、対象地域の子どもの健康状態は良いとは言えない。子どもたちの健康状態の改善のために、幼稚園教師が子どもの健康に関する知識を得ること、また、対象地域の課題の1つである HIV の感染リスクから子どもたちを守るための、エイズ感染経路や感染予防に関する基礎的な知識を習得すること、そしてこれらの保健知識を日常の幼稚園での保健活動として実践していくことが必要である。本研修では、プライマリ・ヘルスケアに関わる基礎的な保健知識・幼稚園での保健活動実践技能・エイズ教育の向上を目指した3日間の前期課程と、前期課程で習得した基礎保健知識を、幼稚園での保健活動の実践につなげることに重点を置いた2日間の後期課程の計5日間の研修を実施した。

今回実施した幼稚園教師対象の保健研修内容は、次のとおりである。

①プライマリ・ヘルスケア概論

プライマリ・ヘルスケア(PHC: Primary Health Care)について、基本的ヘルスケアであり、地域で実践可能であり、科学的に正しく、社会的に受け入れられる方法を用いることなど、基本な考え方を紹介した。また、PHC の枠組みから派生し、住民の参加と費用などの応分負担を強調するコミュニティベース・ヘルスケア(CBHC: Community based Health Care)についても講義し、自律的なヘルスケアについての理解を深めることをめざした。

②栄養／子どもの栄養

食品の3栄養素であるタンパク質、炭水化物と脂質、ビタミンとミネラルとに分けて、その役割を説明し、地域の生活のなかで入手可能な食品をとおして、どのようにバランスよく3栄養素をとることができるかを話し合った。また、子どもの栄養失調について、その原因、症状、そして予防方法の説明をおこない、さらに、栄養バランスのとれた食事をとるための、食料生産ならびに保存法についても言及した。

③水と公衆衛生

水が関係して引き起こす感染症、水不足で起こる感染症を説明し、疾病の原因となる水の汚染について、水源での人や家畜の糞尿、ゴミによるもの、貯水容器での汚染なども説明し、水源や家庭での水の衛生管理ならびに、煮沸・3つのポットによる沈殿・塩素剤の利用など家庭で利用できる水処理法について講義した。さらに、公衆衛生の観点から、家庭ゴミについて分類し、処理の仕方について講義した。そのなかで、トイレを設置することの重要性、また、食器の乾燥棚やゴミ穴を利用することによる衛生環境の改善についても説明した。

④衛生／身の回りの清潔

衛生の定義を確認し、子どもが身の回りを清潔にすることの意味と方法について、身体・目・手・歯・爪・耳・鼻、それぞれに個別に説明した。また、ハエが媒介する感染症を説明し、ハエとの接触を制御することでの感染症の予防について、人や家畜の糞尿・野菜果物のくずの処理、食べ残しを覆うことなどを説明した。

⑤大人および子どもの一般的な疾病

一般的な疾病として、マラリア・下痢・呼吸器系疾患・皮膚病・寄生虫病・ビルハルツ住血吸虫症について、その原因、兆候、予防法について講義した。

また、子どもに関連して、免疫の仕組みと、それを応用した予防接種の仕組みと効果、結核・ジフテリア・百日咳・破傷風・B型肝炎・ポリオ・はしかなど、予防接種の対象となっている子どもの疾病について講義した。

⑥性感染症とエイズ

性感染症について、概要と分類を行ない、淋病・梅毒について説明した。また、エイズについては、幼稚園児の時から日常生活のなかで刃物の共有などを避けることによる HIV 感染予防につながる行動を形成することが重要であり、それを教える幼稚園教師は、エイズに関する十分な知識を持つことが重要であると分析して、重点的な講義を行なった。

エイズについては、HIV とエイズと違い、HIV の感染経路、HIV 感染予防法、HIV に感染した場合の治療と対処法、子どもの HIV 感染に繋がる危険性について確認した。

⑦子どもの成長と発達

子どもの身体の成長を確認する方法として、特に体重を測ることの重要性と正しい体重の測り方を説明し、参加者である教員に実践してもらった。子どもの発達は、栄養面や精神面のサポートが大切であること、そして年齢別の言葉の理解や行動の変化などについて講義した。

⑧住環境

子どもが、多くの時間を過ごす住環境について、その重要性について説明し、望ましい住環境として、住居については、十分なスペースがあること、屋根やドアなどがしっかりしていて太陽光・風雨が十分にしのげること、床や壁が固く滑らかな材料で仕上げられていること、採光や換気がよいことなどをあげた。また、住居の周辺については、トイレ、身体を洗う場所、ゴミを溜める場所を設置することや、周辺の草を刈ることなどを説明した。

⑨安全

子どもが遭遇する可能性がある事故について、火傷・切り傷・転落事故・交通事故・誤飲・ヘビに咬まれることなどについて説明し、その予防と事故への対処について講義した。

⑩幼稚園と幼稚園教師の役割

子どもの身体、精神、言語などの発達において、幼稚園や幼稚園教師がどういった役割を果たしていくべきかを教師と考える機会とした。まず、幼稚園教師に求められる役割のなかで、子どもの健康を守ること、なかでも特別なニーズのある子どもを把握することの重要性を確認した。また、幼稚園での保健活動を行なっていくに際して、保護者との連携が重要であることを確認した。

⑪成長記録カードの記録演習

当会は、幼稚園での保健活動促進のために、今後、体重計と成長記録カードを供与する予定である。その体重計の使い方と成長記録カードの記録方法について説明し、記録演習を実施した。

⑫行動計画とグループディスカッション

研修で学んだ基礎保健知識を復習し、実際にこれらの保健知識を利用した保健活動の実践のためには何が必要か、教師同士がこれまでの経験の共有をおこない、実践に向けた話し合いをおこなった。また、これからどのような保健活動に取り組んでいきたいかを、参加者同士で話し合い、計画を発表する場をもうけた。

ミグワニ県全5教育区において、幼稚園教師対象保健・エイズ研修を3日間の前期課程、2日間の後期課程それぞれ1回ずつ実施し、計92名の教師が研修を修了した。

表 12：幼稚園教師対象保健・エイズ研修

実施日	対象	会場	修了者	T 指標
2011年10月25・26・27日	ゼルニ教育区： 幼稚園教師	ゼルニ小学校	15	90
2011年11月1・2・3日	グタニ教育区： 幼稚園教師	グタニ小学校	15	96
2011年11月8・9・10日	ディタニ教育区： 幼稚園教師	ディタニ TAC ホール	20	120
2011年11月15・16・17日	ゾコア教育区： 幼稚園教師	ゾコア小学校	18	114
2012年1月10・11・12日	ミグワニ教育区： 幼稚園教師	ミグワニリソースセンター	23	198
2012年1月17・18日	ゼルニ教育区： 幼稚園教師	ゼルニ小学校	14	56
2012年1月24・25日	グタニ教育区： 幼稚園教員	グタニ小学校	16	68
2012年1月31日・2月1日	ディタニ教育区： 幼稚園教師	ディタニ TAC ホール	21	86
2012年2月7・8日	ゾコア教育区：	ゾコア小学校	21	84

	幼稚園教師			
2012年2月14日	ミグワニ教育区： 幼稚園教師	ミグワニリソースセンター	25	100
計			188	1012

3-ハ. 住民参加による学習環境の形成

3-ハ-1. 施設拡充

初年度については、教室のニーズが明確な新設校のみに限定して、住民参加による学校運営能力向上と教室建設の完成をめざした取り組みを実施している。さらに、その準備ならびに事業実施過程において、2年度以降の事業展開のためにミグワニ県でのKCPE校を含めた総合的な施設のニーズを確認することもめざしている。

①教室建設のための学校訪問

教室建設のニーズが高い新設校9校を県教育局より協力候補校として推薦を受け、教育区での教育関係者との協議で確認した。それら候補校を訪問し、将来第8学年までそろった完全小学校(KCPE校)に展開する要件が満たされる見込みか、特に土地が保全されているか、当会事業への参加を阻害する他の支援事業が行なわれていないか、保護者に教室建設の意欲があるかなど学校開発計画全般について、校長・保護者との話し合いを実施し、当会ならびに、それぞれの学校地域社会での状況理解の促進をおこなっている。

これまでに、9小学校を対象として19回訪問して、教員・保護者の延べ375名と話し合いを行なった。

表 13：教室建設のための学校訪問

実施日	対象	会場	修了者	T指標
2011年3月28日	ティタニ教育区マサーニ小： 保護者・教員	マサーニ小学校	32	32
2011年3月30日	ティタニ教育区ムルリニ小： 保護者・教員	ムルリニ小学校	46	46
2011年4月4日	グタニ教育区マソーニ小： 保護者・教員	マソーニ小学校	53	53
2011年4月6日	ティタニ教育区イゼンゼ小： 保護者・教員	イゼンゼ小学校	23	23
2011年4月7日	グタニ教育区マテアニ小： 保護者・教員	マテアニ小学校	31	31
2011年4月13日	ミグワニ教育区カンベンベ小： 保護者・教員	カンベンベ小学校	43	43
2011年4月13日	トコア教育区ウィキトー小： 代表保護者	ウィキトー小学校	1	1

2011年4月14日	ミグワニ教育区キリアニ小： 保護者・教員	キリアニ小学校	45	45
2011年4月14日	ゼルニ教育区カルー小： 保護者・教員	カルー小学校	12	12
2011年4月27日	ティタニ教育区マサーニ小： 保護者・教員	マサーニ小学校	11	11
2011年4月27日	グタニ教育区マソーニ小： 保護者・教員	マソーニ小学校	4	4
2011年4月28日	ゼルニ教育区カルー小： 保護者・教員	カルー小学校	5	5
2011年5月4日	ミグワニ教育区カンベンベ小： 保護者・教員	カンベンベ小学校	10	10
2011年5月5日	ティタニ教育区ムルリニ小： 保護者・教員	ムルリニ小学校	8	8
2011年5月6日	ティタニ教育区マサーニ小： 保護者・教員	マサーニ小学校	25	25
2011年5月6日	ティタニ教育区イゼンゼ小： 保護者・教員	イゼンゼ小学校	11	11
2011年5月11日	トコア教育区ウィキトー小： SMC 役員	ウィキトー小学校	6	6
2011年5月17日	ティタニ教育区ムルリニ小： 保護者・教員	ムルリニ小学校	7	7
2011年5月26日	ティタニ教育区ムルリニ小： 保護者・教員	ムルリニ小学校	2	2
計			375	375

また、第2年度で教室建設及び教室補修活動を実施する候補校の訪問調査を実施した。県教育局との定期協議のなかで、教室建設及び教室補修のニーズの高い小学校が挙げられた。当会は、提示された候補校を訪問して、指摘されたニーズの確認、保護者の活動意欲や活動実施条件を満たしているか、また第2年度の活動実施までにその条件を満たすことができそうか、との視点から実施可能性調査を行なった。24校を対象に計27回の訪問をおこない、35名の学校関係者と話し合いをおこなった。

表 14：教室建設のための学校訪問

実施日	対象	会場	修了者	T指標
2011年9月22日	グタニ教育区マズンジニ小学校： 保護者	マズンジニ小学校	1	1
2011年9月22日	グタニ教育区ティム小学校： 保護者	ティム小学校	1	1
2011年9月22日	グタニ教育区グタニ小学校：	グタニ小学校	1	1

	校長			
2011年9月22日	ティタニ教育区ウイーニ小学校： 保護者	ウイーニ小学校	3	3
2011年9月23日	ミグワニ教育区キブル小学校： 校長	キブル小学校	1	1
2011年9月23日	ミグワニ教育区ケア小学校： 校長	ケア小学校	1	1
2011年9月27日	ティタニ教育区マブイ小学校： 副校長	マブイ小学校	1	1
2011年9月27日	グタニ教育区カトテニ小学校： 保護者	カトテニ小学校	1	1
2011年9月27日	グタニ教育区クワキセンガ小学校： 保護者	クワキセンガ小学校	1	1
2011年9月27日	トコア教育区キトゥンビ小学校： 保護者	キトゥンビ小学校	1	1
2011年9月27日	トコア教育区トゥミラ小学校： 保護者	トゥミラ小学校	1	1
2011年9月29日	ティタニ教育区カサビニ小学校： 保護者	カサビニ小学校	1	1
2011年9月29日	ティタニ教育区キュシャニ小学校： 保護者	キュシャニ小学校	1	1
2011年10月11日	トコア教育区トゥミラ小学校： 保護者	トゥミラ小学校	1	1
2011年10月11日	トコア教育区キトゥンビ小学校： 保護者	キトゥンビ小学校	1	1
2011年10月11日	ミグワニ教育区イトロニ小学校： 校長	イトロニ小学校	1	1
2011年10月12日	グタニ教育区カトテニ小学校： 教員	カトテニ小学校	1	1
2011年10月12日	グタニ教育区ティム小学校： 教員・保護者	ティム小学校	1	1
2011年11月16日	ミグワニ教育区ミグワニ AIC 小学 校：校長	ミグワニ A I C 小学 校	1	1
2011年11月16日	ゼルニ教育区ゼルニ小学校： 校長	ゼルニ小学校	1	1
2011年11月16日	ゼルニ教育区キルング小学校： 校長	キルング小学校	1	1
2011年11月21日	グタニ教育区ションゴニ小学校： 校長	ションゴニ小学校	1	1

2011年11月21日	グタニ教育区カディタンザウ小学校：校長	カディタザウ小学校	2	2
2011年11月21日	ティタニ教育区キトゥラニ小学校：校長	キトゥラニ小学校	1	1
2011年11月21日	トコア教育区カディタ小学校：校長	カディタ小学校	1	1
2012年2月13日	トコア教育区ウィキトー小学校：SMC 役員・校長	ウィキトー小学校	6	6
2012年2月14日	ミグワニ教育カンベンベ小学校：校長	カンベンベ小学校	1	1
計			35	35-

②各小学校での施設拡充事業の展開

初年度事業の候補校として訪問した9校のうち、ティタニ教育区のイゼンゼ、マサーニ、ムルリニの3小学校で、教室建設にむけての第一段階である学校運営能力向上研修を実施することに合意して、事業実施のための覚書1を当会と学校とで締結し、教育区教育官ならびに区長が証人として署名した。覚書1を締結した3校において、現地資材の収集を行う一方で、学校運営、建設技術、建設資材収集に関する保護者への研修を実施した。

なお、覚書1締結にいたらなかった6校については、それぞれ学校と事業開始に必要な要件を確認し、その要件が満たされれば、学校から当会に連絡し、再度話し合いを行なうことで合意している。

②-1. イゼンゼ小学校

イゼンゼ小学校において覚書1を締結し、2回の外部資機材供与、7回の学校運営能力向上の研修をおこなった。また、現地資材の収集が完了した後、覚書2を締結し、8回の建設作業の指導・確認のための訪問をおこなった。述べ361名の保護者と教員が活動に参加した。

表15：ティタニ教育区イゼンゼ小学校での施設拡充

実施日	対象・活動	会場	修了者	T指標
2011年5月12日	SMC 役員：覚書1締結話し合い	イゼンゼ小	9	9
2011年5月12日	保護者：覚書1締結	イゼンゼ小	17	17
2011年5月20日	保護者：現地資材収集研修	イゼンゼ小	20	20
2011年5月24日	保護者・教員：外部資材供与	ムインギ町	2	2
2011年5月27日	保護者：レンガ作成の現地研修	イゼンゼ小	24	24
2011年5月31日	保護者：水タンク供与	イゼンゼ小	2	2
2011年6月17日	保護者：マネジメント研修	イゼンゼ小	16	16
2011年7月1日	保護者：資材集め及び資材管理の研修	イゼンゼ小	17	17

2011年7月22日	保護者：レンガ焼成の現地研修	イゼンゼ小	18	18
2011年8月19日	保護者：職人管理の現地研修	イゼンゼ小	9	9
2011年9月2日	保護者：職人管理の現地研修	イゼンゼ小	13	13
2011年9月16日	保護者：フォローアップ	イゼンゼ小	15	15
2011年10月21日	保護者：保護者総会	イゼンゼ小	12	12
2011年11月24日	保護者：フォローアップ	イゼンゼ小	15	15
2011年12月8日	SMC 役員：覚書2締結話し合い	イゼンゼ小	9	9
2011年12月8日	保護者：覚書2締結	イゼンゼ小	18	18
2011年12月8日	保護者：敷地決め	イゼンゼ小	18	18
2011年12月16日	保護者：基礎底部作業	イゼンゼ小	19	19
2011年12月21日	保護者：基礎壁設置	イゼンゼ小	17	17
2012年1月5日	保護者：上部壁設置	イゼンゼ小	20	20
2012年1月19日	保護者：リングビームのコンクリート作業のための準備訪問	イゼンゼ小	18	18
2012年1月25日	保護者：リングビームのコンクリート作業のための進捗確認	イゼンゼ小	17	17
2012年2月1日	保護者：リングビームのコンクリート作業	イゼンゼ小	17	17
2012年2月22日	保護者：屋根設置	イゼンゼ小	19	19
2012年2月22日	保護者：保護者総会	イゼンゼ小	19	19
計			380	380

②-2. マサーニ小学校

マサーニ小学校において覚書1の締結し、2回の外部資機材供与、6回の学校運営能力向上の研修を実施した。マサーニ小学校では、ドナーのない自主事業での教室建設が行われていたため、自主事業が一定の作業工程に達することを覚書2の締結条件としたため、事業の遅延につながった。また、関連して、屋根設置の研修を覚書2の締結前に実施した。覚書2の締結後、建設作業の指導・確認のための訪問を1回実施した。述べ、327名の保護者と教員が活動に参加した。

表 16：ティタニ教育区マサーニ小学校での施設拡充

実施日	対象・活動	会場	修了者	T指標
2011年5月13日	SMC 役員：覚書1締結話し合い	マサーニ小	9	9
2011年5月13日	保護者：覚書1締結	マサーニ小	29	29
2011年5月19日	保護者：現地資材収集研修	マサーニ小	21	21
2011年5月24日	教員・保護者：外部資材供与	ムインギ町	2	2
2011年6月3日	保護者：レンガ作成の現地研修	マサーニ小	17	17
2011年6月21日	保護者：水タンク供与	マサーニ小	2	2

2011年6月24日	保護者：マネジメント研修	マサーニ小	17	17
2011年7月15日	保護者：資材集め及び資材管理の研修	マサーニ小	17	17
2011年8月5日	保護者：レンガ焼成の実地研修	マサーニ小	15	15
2011年8月12日	保護者：保護者総会	マサーニ小	14	14
2011年8月18日	保護者：保護者総会	マサーニ小	15	15
2011年9月1日	保護者：保護者総会	マサーニ小	6	6
2011年9月22日	保護者：職人管理の実地研修	マサーニ小	17	17
2011年9月29日	保護者：保護者総会	マサーニ小	14	14
2011年10月12日	保護者：フォローアップ	マサーニ小	8	8
2011年11月14日	保護者：外部資材供与	マサーニ小	2	0
2011年11月22日	保護者：屋根の梁づくり作業	マサーニ小	15	15
2011年12月1日	保護者：屋根設置の実地研修	マサーニ小	10	10
2011年12月6日	保護者：屋根設置の実地研修	マサーニ小	12	12
2011年12月23日	保護者：覚書2締結準備フォローアップ	マサーニ小	12	12
2012年1月24日	保護者：セメント貸付の返済に関する保護者総会	マサーニ小	23	23
2012年2月2日	SMC 役員：覚書2締結話し合い	マサーニ小	8	8
2012年2月2日	保護者：覚書2締結、敷地決め	マサーニ小	25	25
2012年2月21日	保護者：基礎底部作業	マサーニ小	17	17
計			327	327

③-3. ムルリニ小学校

ムルリニ小において覚書1の締結し、2回の外部資供与、6回の学校運営能力向上の研修を実施した。また、現地資材収集が完了した後、覚書2を締結し、建設作業の指導・確認のための訪問を6回実施した。述べ、586名の保護者・教員が参加した。

表17：ティタニ教育区ムルリニ小学校での施設拡充

実施日	対象・活動	会場	修了者	T指標
2011年6月8日	SMC 役員・保護者：覚書1話し合い締結	ムルリニ小	41	41
2011年6月14日	保護者・教員：外部資材供与	ムインギ町	2	2
2011年6月15日	保護者：レンガ作成の実地研修	ムルリニ小	38	38
2011年6月29日	保護者：現地資材収集研修	ムルリニ小	29	29
2011年7月13日	保護者：マネジメント研修	ムルリニ小	35	35
2011年7月20日	保護者：レンガ焼成の実地研修	ムルリニ小	31	31
2011年8月10日	保護者：資材集め及び資材管理の研修	ムルリニ小	34	34
2011年8月24日	保護者：保護者総会	ムルリニ小	31	31
2011年8月31日	保護者：職人管理の実地研修	ムルリニ小	25	25

2011年9月28日	保護者：フォローアップ	ムルリニ小	27	27
2011年10月19日	保護者：保護者総会	ムルリニ小	24	24
2011年11月2日	SMC 役員：覚書2締結話し合い	ムルリニ小	5	5
2011年11月2日	保護者：覚書2締結、敷地決め	ムルリニ小	33	33
2011年11月17日	保護者：基礎段差作業	ムルリニ小	4	4
2011年11月23日	保護者：基礎段差作業	ムルリニ小	37	37
2011年12月7日	保護者：基礎底部作業	ムルリニ小	34	34
2011年12月14日	保護者：保護者総会	ムルリニ小	39	39
2011年12月21日	保護者：基礎壁設置	ムルリニ小	37	37
2012年1月18日	保護者：上部壁設置	ムルリニ小	42	42
2012年1月31日	校長：フォローアップ	ムルリニ小	1	1
2012年2月8日	保護者：リングビームのコンクリート作業	ムルリニ小	37	37
計			586	586

3-ハ-2. 小学校での環境活動

子どもたちが安心して勉強できる環境づくり、および、子どもたちの健康と栄養改善を目的とし、保護者参加型の環境活動の形成と実践をおこなうことをめざした。初年度は、5校で活動をおこなう計画であったが、土壌保全活動の緊急性の高い3校での活動を優先した。このうちクワキエルとキルングの2小学校は、土壌浸食により教室の基礎が極端に露出した状態で、教室崩壊の危険があったため、緊急の土壌保全活動を実施することとし、県保健局との状況の認識と共有をおこないながら、活動を開始した。また、ムルリニ小学校は、敷地が斜面にあり土質が脆く、全般に裸地化し、多くのリルがみられ、短期間のうちにガリ浸食が発達する懸念があったため、緊急に保護者への土壌保全研修を実施し、具体的な保全活動の形成を促した。

表 18：ゼルニ教育区クワキエル小学校での緊急の土壌保全活動

実施日	対象・活動	会場	修了者	T 指標
2011年9月23日	校長：事前調査訪問	クワキエル小	1	1
2011年10月6日	保護者：公衆衛生官との学校訪問	クワキエル小	5	5
2011年10月17日	保護者：学校訪問	クワキエル小	4	4
2011年11月1日	保護者：保護者総会	クワキエル小	46	46
2011年11月15日	保護者：土壌流出防止壁位置決め作業	クワキエル小	9	9
2011年11月29日	保護者：基礎底部作業	クワキエル小	51	51
2011年12月2日	保護者：土壌流出防止壁位置決め作業	クワキエル小	16	16
2011年12月13日	保護者：土壌流出防止壁設置作業	クワキエル小	44	44
2011年12月22日	保護者：土壌流出防止壁設置作業	クワキエル小	35	35
2012年1月12日	保護者：保護者総会	クワキエル小	67	67
2012年1月26日	保護者：土壌保全の現地研修	クワキエル小	47	47

2012年2月6日	校長：フォローアップ	クワキエル小	1	1
2012年2月16日	保護者：保護者総会	クワキエル小	47	47
2012年2月23日	保護者：保護者総会	クワキエル小	41	41
計			414	414

表 19：ゼルニ教育区キルング小学校での緊急の土壌保全活動

実施日	対象・活動	会場	修了者	T 指標
2011年11月16日	校長：調査訪問	キルング小	1	1
2012年2月6日	校長：学校訪問	キルング小	1	1
計			2	2

表 20：ティタニ教育区ムルリニ小学校での環境活動

実施日	対象・活動	会場	修了者	T 指標
2012年1月11日	保護者：土壌保全の現地研修	ムルリニ小	35	35
2012年1月18日	保護者：土壌保全の現地研修	ムルリニ小	42	42
計			77	77

3-ハ-3. 保護者対象の保健・エイズ学習会

子どもの健康の向上や HIV 感染を予防するためには、教員はもちろんであるが、地域社会、特に子どもの成長を最も近い距離で見守る保護者の参加が重要な役割を担う。エイズ教員研修で知識を得た教員が小学校でその知識を子どもたちに教えたり実践していくことと並行して、保護者も基礎的な保健・エイズの知識を習得することによって、家庭と学校の両方で子どもの健康を守ることに繋げていくことをめざしている。

初年度における保護者対象の保健・エイズ学習会は、エイズ教育研修を修了した教員が在籍するカンベンベ小学校1校で、保護者向けのエイズ学習会を実施した。ケーススタディー、ケニアにおけるエイズデータ、HIV 感染経路、HIV 感染予防方法、エイズ発症を遅らせる方法、子どもの HIV 感染リスクといった基礎的なエイズ知識を扱う。

表 21：保護者対象の保健・エイズ学習会

実施日	対象	会場	修了者数	T 指標
2012年2月1日	カンベンベ小学校：保護者	カンベンベ小学校	17	17
計			17	17

3-8-4. 幼稚園での保健活動

幼稚園保健における、活動形成のための校長・保護者との関係者会議は、関係者会議の実施内容を変更したため、2年度での実施へと変更した。

3-2. 地域に開かれた学校の実践

3-2-1. 地域リーダー育成

①地域の健康のための戦略会議

村に居住する一般住民を対象としたエイズ学習会及び母性保護学習会の開催にあたっては、公的な村のリーダーである村長老のリーダーシップが住民の参加を促す重要な要素となることと、逆に村長老の許諾がなければ、村の住民が集まって外部者の話を聞くこと自体が難しくなる可能性が、これまでの当会の他地域での活動で明らかになった。そのため、「地域の健康のための戦略会議」と称して、地域の人口規模や広がり、行政官の配置状況を勘案して、区もしくは準区単位で、区長・助役に公務として村長老を招集してもらい、エイズと母性保護に関わる保健知識の提供と地域の状況を考えてもらう研修を実施し、村での学習会開催にむけた話し合いを行なっている。また、対象村が多く戦略会議の中で村のクラスター分けが出来ない場合は、後日、近隣の複数の村を単位とする村クラスターを形成するために、村長老対象にクラスター分け会議を実施している。

これまでに、ミグワニ県 14 区（15 区のうち 1 区は事前調査事業で実施済み）のうち、12 区を対象として保健研修・戦略会議を 12 回、クラスター分け会議を 3 回実施し、区長・助役・村長老の延べ 251 名が参加した。

表 22：地域の健康のための戦略会議

実施日	対象・活動	会場	修了者	T指標
2012年3月16日	ザウニ区村長老： 保健研修・戦略会議	ザウニ区長事務所	27	54
2012年3月29日	ゼルニ区村長老： 保健研修・戦略会議	ゼルニ区長事務所	14	28
2012年4月11日	ターナザウ区イエンズバ、キュウ シャニ準区村長老： 保健研修・戦略会議	ターナザウ区長事務所	16	32
2012年4月20日	ザウニ区ムイブ準区村長老： クラスター分け会議	カンゼンゲタウン	8	8
2012年4月25日	ターナザウ区ターナ準区村長 老：保健研修・戦略会議	ターナザウ区長事務所	9	18
2012年5月24日	ザウニ区ザウニ準区村長老： クラスター分け会議	ザウニ区長事務所	6	6
2012年5月26日	ゴンゴニ区村長老： 保健研修・戦略会議	ゴンゴニカトリック教会	37	74

2012年6月14日	キョメ区村長老： 保健研修・戦略会議	キョメ区長事務所	15	30
2012年7月1日	ゴンゴニ区カボロイ準区村長老： クラスター分け会議	カボロイ準区助役事務所	6	6
2012年7月6日	カニャー区村長老： 保健研修・戦略会議	カニャーメシアシップ教会	12	24
2011年8月16日	イラランビュ区村長老： 保健研修・戦略会議	イラランビュ小学校	14	28
2011年8月17日	イトロニ区村長老： 保健研修・戦略会議	カムティシヤ小学校	12	22
2011年9月20日	ザタニ区村長老： 保健研修・戦略会議	ザタニ エービーシー	26	52
2011年10月11日	ミグワニ区村長老： 保健研修・戦略会議	ミグワニ資源センター	15	30
2011年12月1日	ウィンゼエイ区村長老： 保健研修・戦略会議	ウィンゼエイ エスエス	19	38
2012年2月20日	ゾコア区村長老： 保健研修・戦略会議	ゾコアリデーム教会	15	30
計			251	480

3-2-2. 公開学習会

公開学習会は、その開催を当会が提案するもので、村長老との「地域の健康のための戦略会議」のなかで、公開学習会のために村を訪問する日時を設定している。実施する公開学習会はエイズと母性保護の2つである。公開学習会は、導入と学習会の時間に分け、導入のなかで参加者と学習会の内容の確認と実施の合意を行ない、そして、休憩時間を入れるなどして、学習会への参加を希望しない住民が円滑に退席できる状況をつくり、情報に基づく同意（インフォームドコンセント）を保障した学習会実施を行っている。

①エイズ公開学習会

エイズ公開学習会で取り扱っている内容は、次のとおりである。

・ケーススタディー

ケーススタディーは、HIVに感染している夫と、感染していない妻の短い日常生活の話を紹介し、参加者が妻へどのような助言をするか問いかける。これにより、参加者を含む地域住民がエイズをどのように捉えられているかを確認するとともに、参加者には学習会で何を学ぶのか具体的なイメージ・理解を事前に得てもらうためのものである。その後、一度休憩を入れ、当会の専門家が参加者に対して、エイズについて学習することを望まない住民が退出する機会を保障し、インフォームドコンセントに基づいて参加をしてもらう。

・ケニアにおけるエイズデータ

ケニアの最新のエイズ関連データを紹介して、参加者が、エイズ問題の現状についての認識を深めることをめざしている。また、学習会を実施する地域においてもエイズ感染リスクがあるということ、そして、感染を予防するための正しい知識を得ることの必要性を理解してもらう。

・HIV 感染経路

皮膚を傷つけるモノなどとおした血液による感染、母から子への感染、性交渉による感染について標準的な知識を説明し、日常生活の中にある感染の危険性について参加者が理解を深めることをめざす。ひいては、地域社会で見られるエイズに対する誤解や低い認識の改善を促す。

・HIV 感染予防

日常生活のなかで HIV 感染予防につながる生活習慣を確立することから、血液に触れる際には手袋などで肌を覆うこと、刃物や血液が付着している可能性のある道具の共有をしないこと、また、刃物を共有する場合には煮沸や塩素剤に浸して殺菌、もしくは血液が完全に乾いてから使用するよう説明する。また、妊娠した女性は、産前検診のなかで HIV 陽性検査をすることが重要であること、万一、陽性だった場合には母子感染を防ぐための PMTCT サービスを受けることができることと、最新の PMTCT サービスの説明を行なう。性交渉による感染については、HIV ステータスをお互いにわかりあった信頼のできる相手と性交渉をすること、また、性交渉の際にはコンドームを使用することを説明し、ペニスモデルを使用した正しいコンドームの使用方法を実演する。

・エイズの発症・進行を遅らせる方法

HIV 陽性検査によって自己のステータスを知る重要性や治療薬である ARVs の処方について説明するとともに、HIV 陽性者に対する日常のケア・サポートを説明する。栄養バランスのとれた食事の摂取や、免疫力が低下している HIV 陽性者が不衛生な環境から他の病気の感染を防ぐため、身の回りの衛生状態を改善することを勧める。また、HIV の再感染についても説明し、再感染によるさらなるエイズの進行を防ぐために、HIV 陽性者に対しても HIV の感染予防方法を徹底することを説明する。加えて、エイズ陽性者が地域で差別・排除されることなく生活するための、周りの人々の理解とサポートの必要性にも触れる。

・子どものエイズ感染リスク

日常生活における、刃物や食べ物の共有、怪我、早期性交渉といった子どものエイズ感染リスクを説明する。また、対象地域では、子どもを護る立場にある大人が、子どもを誘惑し性的な関係を持ったり、少女の妊娠に対して金銭での解決を図ったり、夜間に子どもを使いに出させるなど、大人が子どもをリスクに直面させる事例が聞かれる。こうした大人の負うべき責任について、参加者と共にどのように子どもたちを HIV 感染リスクから護っていくか、地域が抱える課題を交えながら話し合う。

これまでに、ミグワニ県 15 区（1 区は事前調査事業で実施済み）のうち、12 区の 53 村クラスターでエイズ公開学習会を実施し、一般住民 1412 名が参加した。

表 23 : エイズ公開学習会

実施日	対象	会場	修了者	T指標
2011年3月23日	ザウニ区キキイニ準区カリタ・ムア ニ・キララニ村	キサラニ市場	40	40
2011年3月30日	ザウニ区キキイニ準区ドドマ、カンベ ンベ、カサウ村	キキリニセンター	58	58
2011年4月5日	ゼルニ区ゼルニ準区カトー、キヴァウ ニ、イケングニ村	クワムンヴエカニテ イ	14	14
2011年4月5日	ゼルニ区ゼルニ準区ムズンズウ村	ムズンズウ市場	20	20
2011年4月6日	ザウニ区キキリニ準区ゼメリ、キヅ ニ、キャザンビ、カワシク村	カワシク診療所	88	88
2011年4月7日	ゼルニ区カリベ準区キルング、カリ ベ、ムヅワリ村	ディスシピエショッ プ教会	52	52
2011年4月7日	ゼルニ区ゼルニ準区キノongo、カリ ベ、カトー、ムワンダラ、ゼルニ、イ ケングニ、カラサ、キヴァウニ村	ゼルニ町	30	30
2011年4月28日	ターナザウ区イエズバ準区カザン グア、キトディアニ、マヴィ村	マヴィ町	34	34
2011年4月28日	ターナザウ区イエズバ準区イエ ズバ、マムルニ、カンギイ村	イエズバ町	13	13
2011年5月9日	ザウニ区ザウニ準区イトウンバ、カイ クング村	カイクング ACK	16	16
2011年5月9日	ターナザウ区キューシャニ準区キャ ングンギ、ムルリニ村	キャングンギ市場	18	18
2011年5月10日	ターナザウ区ターナ準区ムワーキニ、 カサビニ村	マサビシニ食堂	33	33
2011年5月11日	ターナザウ区ターナ準区ムワンゲニ、 ムウナ、ワンズウイイ、ターナ村	ムアムバニクワカカ ウ	12	12
2011年5月11日	ターナザウ区キューシャニ準区キュ ウシャニ、キョンドニ、カズルニ村	ターナザウ区長事務 所	21	21
2011年5月11日	ターナザウ区キューシャニ準区キザ ムビオニ、カンガンギニ村	カンガンギニ市場	33	33
2011年5月18日	ザウニ区ムイブ準区カサバニ、キャム ベウオ、カンゼンゲ、ムイブ村	クワマワトゥ食堂	72	72
2011年5月18日	ザウニ区ムイブ準区キヴル、マコン ゴ、ケア村	キヴル食堂	33	33

2011年5月25日	ザウニ区ムイブ準区ムズディニ、キュムブ、キャングー村	クワマラリヤ食堂	23	23
2011年5月25日	ターナザウ区ターナ準区ワムブキ村	カナ食堂	30	30
2011年6月9日	ザウニ区ザウニ準区カムヌ、カトゥタンザウ、カシャルズユ村	カトゥタンザウ市場	19	19
2011年6月9日	ゴンゴニ区マスンジニ準区マスンジニ、クアトラ、カレラ村	マスンジニ市場	30	30
2011年6月9日	ゴンゴニ区マスンジニ準区マカラニ、イコマ村	マカラニ市場	31	31
2011年6月15日	ゴンゴニ区マスンジニ準区キャムタンバー、カビリオ、カビスニ村	カビリオ NAC	10	10
2011年6月15日	ザウニ区ザウニ準区ザウニ、カングンギ、マケングカニ村	ザウニ診療所	31	31
2011年6月23日	キョメ区ザウニ準区セントラル、ボーニ、ムウティニ、イラル村	キョメ区長事務所	16	16
2011年7月5日	キョメ区ダルニ準区キブヴァニ、マバラニ、カンゴカ、カディタ村	ダルニ助役長事務所	43	43
2011年7月8日	ターナザウ区イエズバ準区キザンバンギ、カトゥィ村	バキニ町	24	24
2011年7月12日	キョメ区ダルニ準区ヨンゴニ、ムークニ、ゾンズエニ、カムビティ村	ゾンズエニ ABC	12	12
2011年7月14日	キョメ区キョメ準区バウ、カイトウラ、ジウニ村	バウ小学校	23	23
2011年7月18日	カニャー区カニャー準区キトゥムバ、キャンダニ、キャノバニ、デレケニ村	クワンプタショップ	25	25
2011年7月26日	カニャー区カニャー準区カニャー、セントラル、ザンガティニ、カリムブイ村	カニャー町	11	11
2011年7月27日	カニャー区キトゥラニ準区カゾンゾーニ、キャンガノ、イトウカ村	クワムワンジダム	12	12
2011年7月28日	ゴンゴニ区カボロイ準区マングバ、マサーニ、ビウニ、イエムビワ村	マサーニ AIC	8	8
2011年8月3日	カニャー区キトゥラニ準区キトゥラニ村下部、キテウラニ村上部、キョンドニ村	キトゥラニ小学校	35	35
2011年8月29日	イラランビュ区ムンガル準区ディシヤ、カムトウング、ワンバラ村	ムンガル小学校	18	18

2011年9月1日	イトロニ区イトロニ準区ミシニ、カムユニ、キングゼシヨニ村	カムティシヤ助役事務所	61	61
2011年9月6日	イトロニ区カヴァリヤニ準区カヴァリヤニ、ゲアニ、キザウナニ、カングウゼニ村	カヴァリヤニショッピングセンター	125	125
2011年9月6日	イトロニ区イトロニ準区イコオ、キセウ、イトロニ村	イトロニショッピングセンター	23	23
2011年9月19日	イラランビュ区イラランビュ準区ムワンゼンゲ、カセキニ、スマ村	ムワンゼンゲ小学校	14	14
2011年10月10日	ザタニ区ムワンジル準区ムワンジル、キイニ、カイクンビ、カスンビ、ムタンボ村	ムワンジル助役事務所	20	20
2011年10月10日	イラランビュ区イラランビュ準区イラランビュ、イタアニ、カトゥングニ村	イラランビュ助役事務所	9	9
2011年10月11日	ザタニ区ムワンジル準区ンゴニ、カランバ、キトゥラ村	ゴニA I C	3	3
2011年10月13日	ザタニ区カルー準区カルー、カサンガシニ、カララ、キクウニ、カリム村	カルーA I C	34	34
2011年12月15日	ウィンゼエイ区ウィンゼエイ準区ウィンゼエイ中央、ワララマ、ミゾンギニ村	ムジズマーケット	15	15
2012年1月4日	ウィンゼエイ区ウィキヴワ準区カムテケオ北部、カムテケオ東部、カムテケオ西部	カムテケオ小学校	17	17
2012年1月5日	ウィンゼエイ区ウィキヴワ準区ウィキヴワ村、ウィマツテンドウ村、トゥリワツッテイ村、キアティネニ村	ウィマゼンドウマーケット	31	31
2012年1月18日	ウィンゼエイ区ウィキヴワ準区イゼンゼ北部、イゼンゼ南部	イゼンゼマーケット	5	5
2012年1月19日	ザタニ区ザタニ準区カセヴィ村、マカアニ村、キャトウワカ村	マカニA B C	19	19
2012年1月24日	ミグワニ区カリラニ準区ムズングエ村、イトウンビ村、ビティニ村、ザズグ村	イトウンビ小学校	14	14
2012年1月24日	ミグワニ区カリラニ準区ウグゾ村、キシラニ村、キャムンダジ村	カリラニマーケット	10	10

2012年1月26日	ザタニ区ザタニ準区マシィマ村、ムワ ンゴンディ村、カリコニ村、カルクニ 村、ザタニ村	ザタニABC	3	3
2012年2月7日	ミグワニ区キャンボ一準区ムウクニ 村、カウングニ村	サバイバーマーケッ ト	17	17
2012年2月9日	ミグワニ区ムワリカンジ村、ミヴケニ 村、キカンガニ村	キャンボ一DC	4	4
計			1412	1412

②母性保護公開学習会

母性保護公開学習会で取り扱っている内容は、次のとおりである。

・ケーススタディー

ケーススタディーは、16歳で結婚し、出産した新生児が1週間で亡くなった少女の話を紹介し、参加者が少女へどのような助言をするか問いかける。これにより、参加者を含む地域住民が、女性の妊娠中・出産時の危険性や乳児が持つ病気の危険性などについて、どのように捉えられているかを確認するとともに、参加者には学習会で何を学ぶのか具体的なイメージ・理解を事前に得てもらうためのものである。その後、一度休憩を入れ、当会の専門家が参加者に対して、母性保護について学習することを望まない住民が退出する機会を保障し、インフォームドコンセントに基づいて参加をしてもらう。

・母性保護とは何か

母性保護とは、妊娠・出産に際する母子の死亡リスクを減らすために、広範な知識をえて、日常生活の中で実践することであることを説明し、参加者の理解を深める。

・妊娠中の母子のリスクとケア

妊娠中の出血、妊娠中毒症、子宮外妊娠や流産など、妊娠中の母子に影響するリスクとともに、こうしたリスクの早期発見・予防のために妊産婦検診を受診することの必要性を説明する。対象地域においては、現在の保健政策で推奨されている4回の産前検診をすべて受ける妊婦は少なく、地域の慣習としても定着していない。検診を勧めるとともに、母親自身が出産予定日を知ることや、妊娠中の危険な症状や体調の異変に気づけるようにすること、出産に向けた準備・計画をおこなうようにすることを説明する。

・出産時・出産後の母子のリスクとケア

医療施設で出産することの少ない対象地域において、出産時・出産後の母子の危険な症状や、適切なケアの仕方を知ることが、母子の死亡リスクを減らすための重要な知識となる。母親や出産を手伝う地域の大人や助産師が母子の異変に気づき、早期に医師の診断を受けることができるように、母子それぞれの出産後の危険な症状を説明する。また、母乳が出るか、おりものが正常であるか、母親の精神状態は良好であるかなど、出産後6週間までの母親のケアも説明する。

・家族計画

十分な期間を置かず妊娠・出産を繰り返すことによる母子の健康のリスクを回避するため、また、子どもの健康な成長と発達のために、両親が現実的な家族計画を立てることの必要性を説明する。性感染症やエイズの感染も予防でき、対象地域においても手に入りやすいコンドームを中心に家族計画の方法を説明している。

・早期妊娠によるリスク

地域で起こっている早期妊娠の事例について、参加者と話し合いをおこないながら、地域が抱える子どもの妊娠に繋がる課題とその解決方法、妊娠した少女が直面する身体的な危険や精神的・社会的な困難について説明していく。

これまでに、ミグワニ県 15 区（1 区は事前調査事業で実施済み）のうち、12 区の 54 村クラスターでエイズ公開学習会を実施し、一般住民 1,516 名が参加した。

表 24：母性保護公開学習会

実施日	対象	会場	修了者	T 指標
2011 年 3 月 23 日	ザウニ区キキイニ準区ゼメリ、キヅニ、キャザンビ、カワシク村	クワシク診療所	52	52
2011 年 4 月 6 日	ザウニ区キキイニ準区カリタ・ムアニ・キサラニ村	キサラニ市場	62	62
2011 年 4 月 12 日	ゼルニ区カリベ準区カトー、キヴァウニ、イケンゲニ村	クワムンヴェカニティ	25	25
2011 年 4 月 13 日	ザウニ区キキリニ準区カサウ村	キキリニセンター	50	50
2011 年 4 月 14 日	ゼルニ区カリベ準区キルング、カリベ、ムヅワリ村	キルングディスピエショップ教会	23	23
2011 年 4 月 12 日	ゼルニ区ゼルニ準区ムズンズウ村	ムズンズウカトリック教会	19	19
2011 年 4 月 14 日	ゼルニ区ゼルニ準区キノゴ、キアサ、ゼルニ村	ゼルニ市場	28	28
2011 年 4 月 21 日	ターナザウ区イエンズバ準区キササンバンギ、カトウイ村	ムバキニ町	6	6
2011 年 4 月 21 日	ターナザウ区イエンズバ準区カザングワ、キトディアニ、マヴィ村	マヴィ町	20	20
2011 年 4 月 21 日	ターナザウ区イエンズバ準区イエンズバ、マムルニ、カンギイ村	イエンズバ町	20	20
2011 年 4 月 27 日	ターナザウ区キュウシャニ準区キュウシャ	キュウシャニカ	28	28

	ニ、キョンドニ、カズルニ村	トリック教会		
2011年4月27日	ターナザウ区イエンズバ準区キャングンギ、ムルリニ村	キャングンギ市場	33	33
2011年4月27日	ターナザウ区キュウシャニ準区キザムビオニ、カンガンギニ村	カンガンギニ市場	34	34
2011年5月2日	ターナザウ区ターナ準区ムワーキニ、カサビニ村	カサビニ食堂	55	55
2011年5月2日	ターナザウ区ターナ準区ムワンゲニ、ムウナ、ワンズウイイ、ターナ村	ムアムバニクワカカウ	49	49
2011年5月4日	ザウニ区ムイブ準区ムズディニ、キュムブ、キャングー村	クワマラリヤ食堂	74	74
2011年5月4日	ザウニ区ムイブ準区カサバニ、キャムベウォ、カンゼンゲ、ムイブ村	クワマワトゥ食堂	78	78
2011年5月4日	ザウニ区ムイブ準区キヴル、マコンゴ、ケア村	キヴル食堂	68	68
2011年5月5日	ターナザウ区ターナ準区ワムブキ村	カナ食堂	27	27
2011年5月25日	ザウニ区ザウニ準区カンベンベ、ムアリイ、カティタ、ンドンドマ村	カンベンベ AIC	90	90
2011年6月8日	ザウニ区ザウニ準区キャムタンバー、カビリオ、カビスニ村	カビリオ NAC	20	20
2011年6月15日	ザウニ区ザウニ準区ザウニ、カングンギ、マケンゲカニ村	ザウニ診療所	31	31
2011年6月15日	ザウニ区ザウニ準区イトウンバ、カイクング村	カイクング ACK	5	5
2011年6月16日	ゴンゴニ区マスンジニ準区カムンユ、カトゥタンザウ、カシャルズユ村	カトゥタンザウ市場	21	21
2011年6月16日	ゴンゴニ区マスンジニ準区マカラニ、イコマ村	マカラニ市場	34	34
2011年6月23日	キョメ区ダルニ準区キブヴワニ、マバラニ、カンゴカ、カティタ村	ダルニ助役長事務所	35	35
2011年6月30日	ゴンゴニ区マスンジニ準区マスンジニ、クアトラ、カレラ村	マスンジニ市場	23	23
2011年7月14日	ゴンゴニ区カボロイ準区マングバ、マソーニ、ビウニ、イエムビア村	マソーニ AIC	24	24
2011年7月19日	カニャー区カニャー準区カニャー、セントラル、ザンガティニ、カリムブイ村	カニャータウン	36	36
2011年7月20日	キョメ区キョメ準区バウ、カイトウラ、ジウニ、ムニユニ村	バウ小学校	13	13
2011年7月20日	カニャー区キトゥラニ準区カゾンゾーニ、	クワムワンジダ	14	14

	キャンガノ、イトウカ村	ム		
2011年7月21日	ゴンゴニ区カボロイ準区カボロイ、ムズーヌ、キトゥンビ、ムカウミ村	カボロイ AIC	7	7
2011年8月10日	カニヤー区キトゥラニ準区キトゥラニ上部、キトゥラニ下部、キョンドニ村	キトゥラニ小学校	29	29
2011年8月29日	イラランビュ区イラランビュ準区ムウエンゼンゲ、カセキニ、スマ村	ムウエンゼンゲ小学校	25	25
2011年8月30日	イラランビュ区イラランビュ準区イラランビュ、イタアニ、カトゥングニ村	イラランビュ小学校	14	14
2011年9月1日	イトロニ区イトロニ準区イコオ、キセウ、イトロニ村	イトロニショッピングセンター	12	12
2011年9月5日	イラランビュ区ムンガル準区ディシャ、カムトゥング、ムワンバラ村	ムンガルタウン	20	20
2011年9月6日	イトロニ区イトロニ準区ミディニ、カムユニ、キングゼショニ村	カムティシャ助役事務所	7	7
2011年9月7日	ゴンゴニ区ゴンゴニ準区 ゴングウ、イトウンビ村	クワムイミ食堂	29	29
2011年9月7日	ゴンゴニ区ゴンゴニ準区グウタニ群キウモニ、カゾンガ、カンゴンディ村	キウモニ小学校	17	17
2011年10月4日	ザタニ区ムワンジル準区ゴニ、カランバ、キトゥラ村	ゴニ A I C	3	3
2011年10月5日	ザタニ区カルー準区カルー、カサンガディニ、カララ、キクウニ、カリム村	カルー A I C	18	18
2011年10月13日	ザタニ区ザタニ準区ザタニ、カルクニ、ムワンゴンディ、カルクニ、マティマ村	ザタニ A B C	10	10
2011年12月15日	ウィンゼエイ区ウィキヴワ準区ウィキヴワ、ウィマテンドウ、トゥリワトゥッテイ、キアティネニ村	ウィマゼンドウ	38	38
2011年12月15日	ウィンゼエイ区ウィキヴワ準区カムテケオ北部、カムテケオ東部、カムテケオ西部	カムテケオ小学校	23	23
2011年12月21日	ウィンゼエイ区ウィンゼエイ準区ウィンゼエイ中央、ワララマ、ミゾンギニ村	マジズマーケット	17	17
2011年12月22日	ウィンゼエイ区ウィキヴワ準区イゼンゼ北部、イゼンゼ南部	イゼンゼマーケット	14	14
2012年1月19日	ミグワニ区カリルニ準区ムズングエ、イトウンビ、ビティニ、ザズグ村	イトウンビ小学校	19	19
2012年1月25日	ミグワニ区カリルニ準区イトウンビ、ザング、ビティニ、ビティニ、マズングエ村	ダラニアースダム	3	3
2012年1月31日	ミグワニ区キャンボー準区ムウクニ、カウ	サバイパーマー	20	20

	グニ村	ケット		
2012年1月31日	ミグワニ区キャンボ一準区ムンブニ、カニ ユアニ、マヴィアニ村	ディブニ	34	34
2012年1月31日	ミグワニ区ミグワニ準区ムトゥル、カリテ イニ、モンデニ村	クワビボ	17	17
2012年2月29日	カサンガ準区クワグラ、ウイイニ村	ウイイニ小学校	23	23
2012年2月29日	ウィンゼエイ区ウィンゼエイ準区マサア ニ、シムウ、キクングウニ東、キクングウ ニ西村	ザナニ小学校	20	20
計			1516	1516

以上